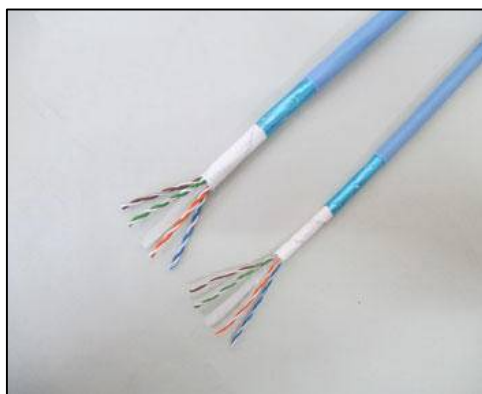


報道関係者各位

2025年1月27日
富士電線株式会社
SWCC株式会社

FLANTEC®ブランド Cat. 6A対応製品が JECTEC性能評価試験「適合」判定を受けました

SWCC株式会社(本社:神奈川県川崎市、代表取締役 CEO 社長執行役員 長谷川隆代)の子会社である富士電線株式会社(本社:神奈川県伊勢原市、代表取締役社長 井上和彦、以下「当社」)は、SWCCグループの高速LAN用ケーブルブランド『FLANTEC®(フランテック)』のラインナップである10Gbps伝送が可能なCat.6A規格対応のTPCC 6A(U/UTP)シリーズが、第三者機関である一般社団法人 電線総合技術センター(以下「JECTEC」)でのCategory 6A(以下「Cat.6A」)LANケーブル性能評価試験において「適合」の判定を受けました。



TPCC 6A シリーズ

■JECTEC「Cat.6A LANケーブル性能評価試験」について

近年、ローカルエリアネットワーク(LAN)は、通信トラフィックの増大や次世代の無線LAN規格(Wi-Fi 6E、Wi-Fi 7)の普及に伴い、ますます高速・大容量化が進んでいます。これに伴い、10Gbps伝送が可能なCat.6A LANケーブルの需要も拡大しており、現在、多数の製品が市場に流通しています。

このような背景の中、第三者機関であるJECTECが一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)と提携し、新たにCat.6AケーブルのJIS規格(JIS X 5150-1:2021)への適合性を評価し、適合製品を公開するための性能評価試験制度が発足しました。この制度は、2024年9月17日より開始され、お客様がCat.6A規格対応製品を安心して選択できる情報を提供します。

当社のCat.6A規格対応LANケーブルであるTPCC 6Aシリーズは、新制度開始に合わせてこの性能評価試験を受け、その初回の試験において「適合」の判定を取得し、2025年1月15日に適合品としてJECTECのウェブサイトに掲載されました。

これにより、当社のCat.6A LANケーブルは、規格性能を十分に発揮できる製品として、皆様に安心してご使用いただけます。

■ 評価試験の概要

(1) エイリアンクロストーク特性試験

複数の LAN ケーブルを多重に布設した場合の隣接したケーブルから発生するノイズであり、通信品質に影響を及ぼす「エイリアンクロストーク」の特性を測定

(2) パッチコード特性試験

LAN ケーブル両端にプラグを取り付け、一般的に使用する形状の「パッチコード」で通信品質に影響を及ぼす「反射損失」「近端漏話」の特性を測定

下表の5品種について、Cat.6A 性能評価試験を実施、測定結果が規格を満足するものとして「適合」判定を受けました。

性能評価試験製品一覧

品名	試験内容	結果	
水平ケーブル	TPCC 6A 23AWG × 4P	エイリアンクロストーク特性試験 (PSANEXT, PSAACRF)	適合
	TPCC 6A(SD) 26AWG × 4P		適合
パッチコード	TPCC 6A PATCH 24AWG × 4P	パッチコード特性試験 (反射損失(RL), 近端漏話(NEXT))	適合
	TPCC 6A PATCH(SD) 26AWG × 4P		適合
	slim-patch6A 28AWG × 4P		適合

当社は今後もより高品質、高性能な LAN ケーブルをご提供するべく、製品の研究・開発・改良に取り組んでまいります。

<参考>

- ・ Cat.6A LAN ケーブル性能評価試験 (JECTEC ホームページ)
https://www.jectec.or.jp/testing-service/02cat_6alan/cat6a/
- ・ 富士電線株式会社
<https://www.tokyo-fuji.co.jp/>

以上

【本件に関するお問合わせ先】
 ~ 照会先 ~
 富士電線株式会社 東京事務所
 TEL: 03-5217-0911
 ~ 報道機関お問合せ先 ~
 SWCC株式会社 経営戦略部広報グループ
 TEL: 044-223-0530 inq-sonota@swcc-g.com